



埼玉県立浦和西高等学校

Urawanishi High School

発行日 平成28年12月14日

学校通信 ～西高は今～

発行責任者 校長 高野 能弘

HP <http://www.urawanishi-h.spec.ed.jp>

自らの人生を自らで生き生きと生きよう

校長 高野 能弘

私は長年、陸上競技部の顧問をしてきました。私が教員になった当時は埼玉県では生徒数が増加を続け、県内に多くの高校が新設されていました。大学を卒業して新設校のひとつに赴任しました。陸上競技部がなかったので部を作り生徒と活動を始めました。最初は、トラックもなく練習場所の確保もままならないスタートでした。

県大会の初日に競技場で生徒を待っているといつまでたっても現れず、学校に連絡したところ、「雨だから中止だと思って学校に登校しました」とのこと。陸上競技の大会は雨でも行われることを知らず、学校の体育祭と同じで中止だと思ってしまい競技場に来なかったのがわかりました。

そんな素人集団と毎日、懸命に練習を続けました。そのなかの一人の生徒が次の年に円盤投げという種目で全国高校総体（インターハイ）への出場を果たしました。彼は中学校でハードル競技を経験していましたが、1年生の時は陸上競技部がなく、2年生からのスタートで1年間の猛練習で全国大会への出場を果たしました。そのときから若者と接する時に思うことがあります。

それは「若者は過去に拘束されない」ということです。そのことを心に留めて若者には前向きに生活して欲しいと思っています。若いんだからうぬぼれたってイイじゃありませんか。「自分にもできる。自分だってものすごい力を持っている可能性がある」と思ってほしいということです。自分を信じるのが、物事がうまくいく前提だと思います。

皆さんはプロ野球巨人軍元監督の長嶋茂雄さんをご存じだと思います。彼は千葉県の佐倉一高（現在の佐倉高校）時代、ショートを守っていました。ある試合でエラーを重ねた結果、当時の加藤哲夫監督からサードを守備するように交代を告げられました。加藤監督は彼の素質を見抜いていたのかもしれませんが、それがあの大選手のスタートでした。失敗から大きく成長することだってあります。「やってみれば何とかかなる。」そう思えば、だいたいのことなら

成し遂げることができると思います。あとは努力を続けるだけです。そしてある時期にふと立ち止まって自分の足跡を見つめて、また前進することだと思います。

西高生一人一人がそれぞれに輝いてほしいというのが今の私の願いです。

「遠慮することはない。自らの人生を自らで生き生きと生きよう。」

1 大東小学校との交流(11/21・22)

11月21日（月）・22日（火）の二日間、「小学生と高校生との交流事業」として、本校の1・2年生12名が、大東小学校の3年生と4年生のクラス担任の先生方のお手伝いを行いました。二日間という短い期間でしたが、先生という立場から子供たちと接することで、たくさんのことを学んだようです。

大東小学校の先生方、大変お忙しい時期にもかかわらず貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。



『オールスタッフ』



『登校指導の様子』



『給食指導の様子』

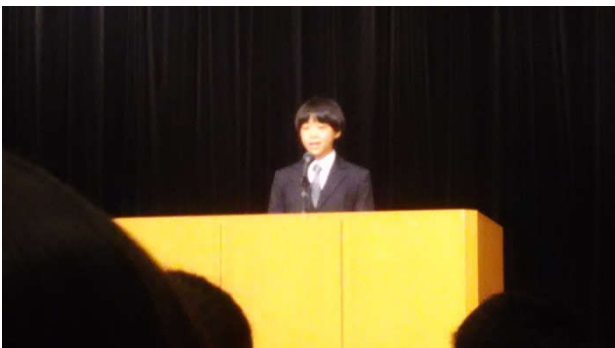
2 第2回サイエンスアカデミー(11/14)

11月14日(月)県民の日に県立高校プロフェッショナル育成事業「サイエンスアカデミー」の一環として国立天文台の見学会を行いました。第一部として、天文台職員の萩野正興先生(フレア博士として太陽に関する講演会を多く行っている方です。)より直径4mもの球体に太陽の動画を投影しながら、太陽研究についてご講演いただきました。第2部は施設見学ですが、通常は見学できない歴史的な建造物のひとつであるアインシュタイン塔の内部まで見学させていただき、アインシュタイン塔を担当されている中桐正夫先生より構造や展示されている分光器等について詳しく解説をしていただきました。最初は緊張気味であった本校生ですが、次第にそれもほぐれ積極的に質問するなど、非常に充実した見学会となりました。国立天文台の多くの方のお世話になりました。ありがとうございました。

3 埼玉県英語スピーチコンテスト

「シルバー賞」受賞(11/14)

11月14日(月)に行われた、埼玉県英語スピーチコンテストにおいて、1年3組レガロ恵美理さんが、見事シルバー賞を受賞しました。おめでとうございます。



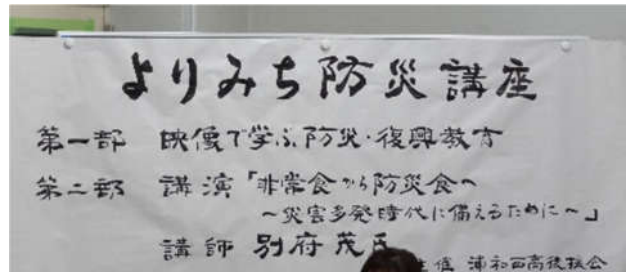
4 祝・弓道部男子団体 東日本大会出場決定

11月12日(土)に行われた「全国高校選抜弓道大会県予選会」において、本校弓道部男子団体が第3位に入賞し、東日本大会(H29.3埼玉県開催)への出場が決定いたしました。おめでとうございます。

5 第3回 よりみち防災講座(11/26)

11月26日(土)に、「よりみち西高(講座)」として、第3回よりみち防災講座～西高で防災を考える～を実施しました。

第1部では、昨年の『全国高等学校PTA連合会大会 岩手大会 防災教育・復興教育～「防災教育」・「復興教育」の推進について～』における内容を映像を通し学びました。2011年3月11日の東日本大震災での災害対応指揮官、町人口の1割が避難してきた高校の当時の副校長、子供たちの日常生活の回復に奮闘したPTA会長、町長はじめ多数の職員を失った町幹部職員、防災教育『津波てんでこ』を実践した元中学校教諭によるパネルディスカッションにおいて、その当時の状況を聞かせていただきました。その中で、「危機管理で大切なことは、リスクを考え(イメージする)、そのリスクにおいていかに準備をするかがすべてである。」という言葉が印象的でした。



「よりみち防災講座」

第2部では、西高の防災対策の現状説明及び防災施設見学(防災用備蓄倉庫)を行いました。また、後半は、日本災害食学会副会長の別府 茂様をお呼びし、防災食を食べながらの懇話会を行いました。

6 救急法講習会(12/12)

12月12日(月) 考査終了後、本校視聴覚室で救急法講習会を行いました。各クラスの保健委員のほか、運動部のマネージャーや医療系の進路に興味を持っている生徒が参加しました。救命救急士の経験を持つ教諭が講師となり、心肺蘇生法やAEDの使い方について学びました。それぞれが真剣な表情で力いっぱい胸骨圧迫の練習をする姿が印象的でした。

